

生涯学習に係るアンケートについて

1 実施対象：

アンケート実施期間中に生涯学習財団の市民大学の講座を受講した人

2 実施期間：

令和3年3月23日～4月23日

3 実施方法：

アンケート用紙に記入もしくはQRコードのリンク先ホームページ上で回答

4 実施結果：

(1) 回答者数

235人(用紙回答232人、ホームページ回答3人)

年齢別内訳			
～10代	1人	50代	9人
20代	1人	60代	46人
30代	1人	70代	135人
40代	5人	80代～	33人

無回答4人

(2) 質問ごとの回答

【質問1】高齢期において、学習に取り組む上で困り事となる(なりそうな)ことはなんですか？(複数回答可)

年齢無回答者分は合計に足しています

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
学習する場所や機会が少ない	1	1	0	3	2	20	31	14	74
学習する時間がない	1	0	0	0	0	0	2	0	3
自身の体力や記憶力の低下	1	0	1	3	4	24	74	18	127
学習したことを生かす場所や機会がない	0	1	0	2	2	10	13	2	31
学習を続けるモチベーションの維持	0	0	0	1	2	16	46	8	73
経済的な余裕がない	0	0	1	3	1	6	5	1	17
家族や周囲の理解がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特になし	0	0	0	0	3	2	25	4	35
その他(自由記入)	0	0	0	0	1	3	10	4	18

その他の回答抜粋

- ・視覚、聴力の低下(70代)
- ・車の運転に自信がなくなり、会場に行くまでに時間と交通費がかかる(70代)
- ・学習を機会に親睦を深める場があるとよい、年齢を重ねると友達作りが中々しにくい(70代)

【質問2】質問1で答えた困り事を解消するためには、市では、どのようなことが必要だと考えますか？（複数回答可）

年齢無回答者は合計に足しています

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
時間や場所に縛られないオンライン学習	0	0	1	4	3	10	18	3	40
土日祝日や夜間の講座の拡充	1	1	0	1	2	6	8	0	19
様々なジャンルの講座	1	0	0	4	3	30	73	16	128
体力や認知機能の回復につながる学習	0	0	0	1	3	11	35	11	62
身近で役に立つことや仕事に直接つながる学習	0	0	0	0	1	7	6	3	17
学んだことを実践できる場や機会の提供	0	1	0	3	2	9	14	3	32
参加者同士の親睦を深め、知り合いになれる学習	0	0	0	2	1	11	19	8	41
個人の状況に応じた学習方法のアドバイス	0	0	0	1	1	5	10	3	21
特にない	0	0	0	0	1	3	14	1	20
その他（自由記入）	0	0	0	1	1	2	6	4	15

その他の回答抜粋

- ・ITリテラシーの向上（特に高齢者）のための取り組み、オンライン学習でも必要となると思います（50代）
- ・オンラインも時に良いものですが、高齢になると外出の機会が少ないので外出して受講するのは楽しみでもあります（70代）
- ・歴史・文学・芸術・科学・社会学・哲学等、人生を豊かにしてくれるような講座。How-toものばかりにしない（70代）

【質問3】今後、より多くの人が高齢期にも学習を続けていくために、個々人に必要なこと、周り（行政・地域・企業）に期待することは何ですか？（記述式）

個々人に必要なこと

色々なことに興味をもってモチベーションを維持すること、健康、元気で体力を維持していくことの2点に関する回答が多かった。また、友人、仲間との交流など、社会とつながりを持つというような回答が見られた。

- ・自分自身でやりたいこと、興味があることを探し出すこと（80代）
- ・健康維持（運動・食生活・コミュニケーション）（70代）
- ・学んだことをお互いに伝え合うことができる友達を持つことが重要（80代）

行政・地域・企業に期待すること

座学に限らず、運動やグループワーク、地域での実践など、多様な内容、形式の講座を求める回答が多かった。また、気軽に学習や交流ができる場づくり、学習の場へのアクセスのしやすさを求める回答もあった。オンライン学習については、前向きな回答も多かったが、高齢になると難しいという声もあった。

- ・認知症対策の頭の体操の講義など、継続的に通えるものを作ってほしい（50代）
- ・地域（近場）で学べるように機会を作ってほしい（70代）
- ・タブレット・PCの操作等を学べるようにし、オンライン学習の助けにする（80代）

「YOKOSUKA ビジョン 2030」 高齢期における学習に関するアンケート

横須賀市役所では、現在、2030年の横須賀市のあるべき姿を考え、その姿に向けて横須賀一体で進んでいくための「YOKOSUKA ビジョン 2030」という計画を策定しています。

未来を考えると、「人生100年時代」では、高齢期においても『学び続ける』ことがより重要になる社会が想定されます。そこで、高齢期でも、多くの方が意欲的に学ぶ機運を高めることや、よりよい機会を創出のするため、皆様のご意見をお聞かせください。

1 年齢を○で囲んでください

~10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代~

2 高齢期において、学習に取り組む上で困り事となる(なりそうな)ことはなんですか?当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

学習する場所や機会が少ない 学習する時間がない 自身の体力や記憶力の低下

学習したことを生かす場所や機会がない 学習を続けるモチベーションの維持

経済的な余裕がない 家族や周囲の理解がない 特にない

その他()

3 2で答えた困り事を解消するためには、市では、どのようなことが必要だと考えますか?当てはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

時間や場所に縛られないオンライン学習 土日祝日や夜間の講座の拡充 様々なジャンルの講座

体力や認知機能の回復につながる学習 身近で役に立つことや仕事に直接つながる学習

学んだことを実践できる場や機会の提供 参加者同士の親睦を深め、知り合いになれる学習

個人の状況に応じた学習方法のアドバイス 特にない

その他()

4 今後、より多くの人が高齢期にも学習を続けていくために、個々人に必要なこと、周り(行政・地域・企業)に期待することは何ですか?以下にご記入ください。

個々人に必要なこと

()

行政・地域・企業に期待すること

()



アンケートは、
こちらのQRコードから
インターネット上でも
ご回答いただけます。

アンケートの〆切は、4月23日(金)です。
〆切までに、用紙のご提出もしくは、インターネット上での入力、いずれかの方法により
1名様1度、ご回答をお願いいたします。